

第16回 洛南ライオンズクラブ杯争奪大会  
第18回 J:COM京都みやびじょん旗争奪南区少年野球大会  
第17回 京都市長杯争奪大会（Aの部）

特別規則と注意事項

南区少年野球振興会

1. 選手登録はありません。当日のメンバー表により代用する。
2. ベンチには、当日のメンバー表に記載された選手(20名)・代表者・監督・コーチ・スコアラーの計25名以内しか入ることは出さない。  
※新入部員で、ユニホームがなくてもベンチ入りは認めるが試合には出場できない。  
ベンチは抽選番号の若い方を一塁側とする。
3. 監督・コーチは選手と同一意匠のユニホーム・スパイク・ゴム底運動靴の着用を義務づける。  
《監督は30・コーチは28・29の背番号をつけていること。》  
選手は防寒の目的に限り、アンダーウェアの着用を認める。
4. 試合時間は、A・Bの部 1時間20分 Jの部 1時間10分とし以降新しいイニングには入らない。  
《ただし、決勝戦はA・B・Jの部1時間30分とする。》
5. 試合回数はA・Bの部 7回 Jの部 5回とし、勝敗が決しない場合は特別ルールにて1イニングのみ行い、特別ルールでも勝敗が決しない場合は、抽選にて勝敗を決める。《ただし、決勝戦は除く》  
決勝は1時間30分。A・Bの部7回、Jの部5回とし、同点の場合は特別ルールにて勝敗が決するまで行う。  
【特別ルールは、ワンアウト満塁で、1番バッターからという同一条件にて行う。】
6. A・Bの部 4回10点、5回7点差、Jの部 3回10点 4回7点差がある場合コールドゲームを採用する。(全試合)
7. 右投手の三塁への偽投は軸足をプレート板の後にはずして行わなければボークとなる。  
《左投手の一塁へのけん制と同じ扱いとなる》
8. 野手がボールデッドライン付近のフライを捕球後にボールデッドゾーン内に入った場合は、ファウルボールとする。
9. 手袋の使用は、打者および投手以外の野手については、これを認める。
10. 投手交代時の投球練習中のダッグアウトを出ての素振りには、次打者にのみこれを認める。
11. 試合開始時間前でも、前の試合が早く終了した場合は直ちに次の試合を開始する。
12. 試合開始時間になっても球場に来ないチームは棄権とする。
13. 日程の都合上、小雨の場合でも球場使用が可能な状態であれば強行する。
14. 暗雲降雨により試合を中断・中止した場合、A・Bの部5回、Jの部4回を終了していれば試合成立とし終了する。  
但し、それ以外の場合は、継続試合として後日改めて行う。
15. タイムはプレーヤーが要求した時ではなく、審判員が認めた時である。
16. 抗議できる者は、監督、主将か当該プレーヤーのみとする。《但し、ルールの適用に誤りがあった時のみ》
17. 審判は、球審・塁審ともに、全試合当振興会審判員にて行う。
18. 審判の服装は紺色の長袖シャツ、紺色又は黒色のズボンを着用し、靴も黒色の物を履くこと。  
《担当試合の30分前には、集合すること》
19. どんな方法であろうと、相手チームの選手や審判員に対して悪口・暴言は禁ずる。
20. 選手並びに応援団の行動については当該チームが一切その責任を負うこと。
21. 本大会では、不慮の事故及び障害等の責任は一切負いません。
22. 雷鳴が発生した場合は、審判員の指示に従い試合を中断し建物へ非難する。
23. その他競技規則は、2016年公認野球規則及び全日本軟式野球の内規を適用する。